

## 司法修習生に対する支給等一覧

|   | 新制度（予定）<br>71期～<br>(平成29年11月～)                                     | 現行（貸与制）<br>新65期～70期<br>(平成23年11月～<br>平成29年12月) | 旧（給費制）<br>新61～新64期<br>(平成19年11月～<br>平成23年12月)       |
|---|--|--|---|
|   | <b>修習給付金<br/>(基本額)<br/>月13.5万円</b><br>+<br><b>貸与金<sup>※1</sup></b> | <b>貸与金<br/>(基本額)<br/>月23万円</b>                 | <b>給与<sup>※2</sup><br/>(本俸)<br/>月20万<br/>4,200円</b> |
| <b>導入修習開始<sup>※3</sup></b>              |  |  |   |
| 旅費（⇒和光市）                                | 支給   | 支給   | —   |
| 移転料 <sup>※4</sup> （⇒和光市）                | 支給   | 不支給  | —   |
| <b>分野別実務修習への移動</b>                      |  |  |   |
| 旅費（⇒実務修習地）                              | 支給   | 支給   | 支給  |
| 移転料 <sup>※4</sup> （⇒実務修習地）              | 支給   | 支給 <sup>※5</sup>                               | 不支給   |
| <b>分野別・選択型実務修習中</b>                     |  |  |   |
| 通所費（自宅⇒修習場所）                            | 不支給  | 不支給  | 支給（通勤手当）  |
| 家賃関係                                    | 支給 <sup>※6</sup>   | 貸与（住居加算） <sup>※7</sup>                         | 支給（住居手当）  |
| 社会保険                                    | 国民健康保険等  | 国民健康保険等  | 裁判所共済組合   |
| <b>集合修習への移動</b>                         |  |  |   |
| 旅費（実務修習地⇒）                              | 支給   | 支給   | 支給  |
| 移転料 <sup>※4</sup> （実務修習地⇒）              | 支給   | —  | —   |
| <b>集合修習中</b>                            |  |  |   |
| 通所費（自宅⇒司法研修所）                           | 不支給  | 不支給  | 支給（通勤手当）  |
| 家賃関係                                    | 支給 <sup>※6</sup>   | 貸与（住居加算） <sup>※7</sup>                         | 支給（住居手当）  |
| 社会保険                                    | 国民健康保険等  | 国民健康保険等  | 裁判所共済組合   |
| 日額旅費                                    | 不支給  | 不支給  | 支給  |
| <b>他の移動関係</b>                           |  |  |   |
| A班の集合修習から実務修習地までの旅費<br>(集合修習⇒選択型実務修習)   | 支給   | 支給   | 支給  |
| B班の集合修習から実務修習地までの旅費<br>(集合修習・二回試験⇒修習終了) | —  | —  | 支給  |

新制度における給付と修習課程の関係を簡潔に示すため、「旧（給費制）」は便宜新61期からとしている。

※1 新制度においては、貸与額を見直した上で併存される。

※2 旧（給費制）の給与（本俸）は新64期の額である。

※3 導入修習は第68期（平成26年11月採用）から開始された。

※4 修習に伴い住所・居所を移転する必要が認められる場合、支給される。新制度では、移転給付金が支給される。

※5 第67期（平成25年11月採用）から、採用前住所から実務修習地への移動につき、移転料の支給開始。

※6 新制度では、住宅を借り受け、家賃を支払っている場合、住居給付金（月額3.5万円）が支給される。

※7 自ら居住するための住居を借り受け家賃を支払っており貸与額の変更を希望する場合は、住居加算（2万5,000円）が認められ、貸与額を25万5,000円とすることができる。